

情報公開文書

研究課題名

経口抗ウイルス薬（direct-acting antivirals : DAA）によりウイルス排除を達成した C 型肝炎ウイルス（HCV）感染を合併した透析施行症例の予後の検討：透析施行症例における HCV 排除のベネフィットの検証

研究の概要

広島大学を研究代表機関として、C 型肝炎ウイルス（HCV）感染を合併した透析患者さんにおいて、DAA 治療によるウイルス排除がその後の予後にどのような影響を与えるかを検討する研究が実施されています。当院は、本研究に対し診療情報を提供する協力機関として参加します。

研究対象者

当院において、2014 年 1 月から 2021 年 10 月までの期間に DAA 治療を受け、持続的ウイルス学的著効（SVR）を達成した 20 歳以上の透析患者さんです。

研究期間

研究機関の長の許可日から 2028 年 3 月 31 日までです。

提供する情報

当院の診療録等に記録された研究に必要な情報を提供します。なお、氏名、住所等の個人を直接特定できる情報は提供しません。

情報の提供方法

研究に用いる情報は、研究対象者個人を識別できないよう加工したうえで、適切な安全管理措置を講じて研究代表機関へ提供します。

個人情報の保護

研究に利用する情報は、個人を直接特定できない形で取り扱われます。また、研究成果は学会発表や学術雑誌等で公表されることがありますが、個人が特定されることはありません。

研究への情報利用を希望されない場合

この研究は、通常診療で取得された情報を用いて実施されるため、対象となる患者さんお一人おひとりに直接同意をいただく代わりに、研究に関する情報を公開しています。

ご自身の情報を本研究に利用されたくない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。可能な範囲で研究対象から除外いたします。ただし、既に研究解析が終了している場合などは対応できないことがあります。

研究代表機関

広島大学大学院 医系科学研究科

研究責任者 田中 純子

お問い合わせ先

国立病院機構高崎総合医療センター

臨床研究部

研究責任者 柿崎 暁

電話：027-322-5901（代表）